# 平成２５年９月定例会提出一般議案一覧

Ｈ２５．８．２８

| No. | 議案番号 | 議　案　の　題　名 | 概　　要 | 所管課 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 議案第７１号 | 熊谷市税条例の一部を改正する条例 | ①「地方税法」の一部改正に伴うもの<br>ア　個人の市民税に係る住宅借入金等特別税額控除の延長・拡充<br>イ　個人の市民税に係る公的年金からの特別徴収制度の変更<br>ウ　延滞金の割合の見直し<br>②アの改正は平成２７年１月１日から、イの改正は平成２８年１０月１日から、ウの改正は平成２６年１月１日から施行 | 市民税課<br>資産税課 |
| 2 | 議案第７２号 | 熊谷市都市計画税条例の一部を改正する条例 | ①「地方税法」の一部改正に伴い、「都市再生特別措置法」に規定する管理協定の対象となった備蓄倉庫に係る課税標準の特例割合等を定めるもの<br>②公布の日から施行 | 資産税課 |
| 3 | 議案第７３号 | 熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | ①「地方税法」の一部改正に伴い、上場株式等に係る譲渡所得等に係る国民健康保険税の課税の特例の新設等を行うもの<br>②平成２９年１月１日から施行（一部 平成２６年１月１日から施行） | 保険年金課 |
| 4 | 議案第７４号 | 熊谷市税外収入金の督促等に関する条例の一部を改正する条例 | ①税外収入金に係る延滞金の割合の見直しを行うもの<br>②平成２６年１月１日から施行 | 財政課 |
| 5 | 議案第７５号 | 熊谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 | ①後期高齢者医療の保険料に係る延滞金の割合の見直しを行うもの<br>②平成２６年１月１日から施行 | 保険年金課 |
| 6 | 議案第７６号 | 熊谷市農業集落排水施設条例及び熊谷市農業集落排水事業の受益者分担金の徴収に関する条例の一部を改正する条例 | ①農業集落排水施設の使用料及び農業集落排水事業の受益者分担金に係る延滞金等に関する規定の整備を行うもの<br>②公布の日から施行 | 農地整備課 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 議案第７７号 | 熊谷市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例 | ①市営土地改良事業の分担金に係る延滞金の割合等の見直しを行うもの<br>②平成２６年１月１日から施行 | 農地整備課 |
| 8 | 議案第７８号 | 熊谷市営住宅条例の一部を改正する条例 | ①「福島復興再生特別措置法」等の一部改正に伴い、文言の整備を行うもの<br>ア　引用する条を改める。<br>イ　引用する法律の名称を改める。<br>②アの改正は公布の日から施行し、イの改正は平成２６年１月３日から施行 | 営繕課 |
| 9 | 議案第７９号 | 熊谷市デイサービスセンター条例及び熊谷市在宅介護支援センター条例を廃止する条例 | ①熊谷市江南デイサービスセンター及び熊谷市江南在宅介護支援センターを廃止するもの<br>②平成２６年４月１日から施行 | 江南行政センター市民福祉課 |
| 10 | 議案第８０号 | 工事請負契約の締結について<br>（平戸中継ポンプ場汚水ポンプ改築更新工事） | ①概要　平戸中継ポンプ場の機械設備工事（汚水ポンプ等）及び電気設備工事（汚水ポンプ盤等）<br>②契約金額　２０１，７５７，５００円 | 契約室 |
| 11 | 議案第８１号 | 財産の交換について | ①熊谷市立久下小学校駐車場用地を取得するため、妻沼地内等の市有地と久下地内のくまがや農業協同組合所有地を交換するもの<br>②交換に供する土地の価額　２８，０６１，２６５円<br>③交換により取得する土地の価額　９，３６２，１００円<br>④交換差金　１８，６９９，１６５円 | 庶務課 |
| 12 | 議案第８２号 | 財産の処分について | ①野原地内の市所有の建物を売却処分するもの<br>②処分価格　４２，３２０，０００円に契約日（平成２６年４月１日）の税率による消費税及び地方消費税相当額を加えた額 | 江南行政センター市民福祉課 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 13 | 議案第８３号 | 損害賠償の額の決定及び和解について | 平成２５年１月７日に発生した自動車事故により、相手方を負傷させ、並びに相手方車両及びごみ集積所のブロック塀を損傷させたため、治療費等を賠償し、和解するもの | 納税課 |
| 14 | 議案第８４号 | 市道路線の認定について | 新奈良川の管理用道路等の市道路線の認定（１６路線） | 管理課 |
| 15 | 議案第８５号 | 市道路線の廃止について | 道路用地の売払い等に伴う市道路線の廃止（４路線） | 管理課 |

平成25年8月28日発表

# 平成２５年９月市議会補正予算（案）の概要

## １　予算規模

（単位：千円）

| 会計区分 | | 補正前の額 | 補正額 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 一般会計補正予算（第２号） | | 58,737,893 | 258,021 | 58,995,914 |
| 特別会計 | 農業集落排水事業特別会計（第１号） | 361,449 | 5,800 | 367,249 |
| | その他の特別会計 | 29,618,551 | 0 | 29,618,551 |
| | 特別会計の計(今回歳入歳出予算の補正は1会計) | 29,980,000 | 5,800 | 29,985,800 |
| 一般会計及び特別会計の計 | | 88,717,893 | 263,821 | 88,981,714 |
| 水道事業会計 | | 6,536,809 | 0 | 6,536,809 |
| 合計 | | 95,254,702 | 263,821 | 95,518,523 |

## ２　歳出補正予算の主なもの

（１）一般会計

（単位：千円）

| 款 | | 事項 | 補正額 | 備考 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 民生費 | 災害時要援護者避難支援事業 | 6,900 | 要援護者の避難支援体制の整備のため、名簿と地図が連動するシステムを導入し、地域の共助体制の強化を図る。 | 長寿いきがい課 |
| | | 特別保育事業 | 43,650 | 保育士の人材確保対策として、県の安心こども基金を活用し、民間保育所へ処遇改善のための補助金を交付する。 | 保育課 |
| 4 | 衛生費 | 健康増進事業 | 286 | 自殺対策として、県の補助金を活用し、ゲートキーパー（命の門番）を養成するための講座を実施する。 | 健康づくり課 |
| 6 | 農林水産業費 | ほ場整備事業 | 11,661 | 熊谷中央地区の県営事業費の増額に伴う市負担金の増及び上之東部地区の基本設計業務委託料を補正する。 | 農地整備課 |
| 7 | 商工費 | ウーマノミクス創業支援事業 | 1,500 | 女性の起業支援と地域活性化のため、妻沼地区の空き施設を、試験的に創業を行える店舗に改装する費用を、商店会に補助する。 | 商業観光課 |
| 9 | 消防費 | 消防活動経費 | 36,000 | 熊谷はしご２号車にＮｏｘ・ＰＭ装置を取付け、オーバーホールを実施し、中高層建物火災時の迅速かつ安全な消火活動に備える。 | 消防総務課 |

（２）特別会計

（単位:千円）

| 会計名 | 事項 | 補正額 | 備考 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|
| 農業集落排水事業特別会計 | 農業集落排水維持管理経費 | 5,800 | 県施工の舗装工事に併せて、上中条地区内の農業集落排水の管路の補修工事を行う。 | 農地整備課 |

担当者　総合政策部　財政課　高橋千春
連絡先　048-524-1111(内線　241)

＜ 速報 ＞
平成25年度9月補正予算(案)概要
平成25年8月28日発表

# 熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

災害時要援護者避難支援事業

## 1 事業内容

災害時要援護者(単身高齢者や障害者等)の避難支援体制の整備のため、要援護者名簿搭載者の住所と地図が連動できるシステムを導入する。
今後、システムを活用し、民生委員・自治会長（自主防災組織）の協力のもと、要援護者避難支援プラン（個別計画）の作成を進めていく。

## 2 事業目的

「熊谷市地域防災計画」や「熊谷市災害時要援護者避難支援プラン」に基づく要援護者の避難支援体制の整備を進めるため、要援護者名簿と地図情報が連動できるシステムを導入することにより、災害に備えた地域の共助体制の強化を図る。

## 3 経緯・経過

平成20年3月　「熊谷市地域防災計画」策定
平成22年3月　「熊谷市災害時要援護者避難支援プラン（全体計画）」策定
平成22年7月　「熊谷市災害時要援護者支援制度実施要綱」策定
平成23年3月　緊急雇用補助金を活用し、台帳の電子化を実施
平成23年5月　各自治会、民生委員へ対象者のリストを配布
平成25年6月　災害対策基本法等の一部改正により対象者リストの充実が必要となる。
（※改正法では、災害時要援護者は、避難行動要支援者となっている。）

## 4 影響・効果

・災害時要援護者の円滑かつ安全な避難を確保することができる。
・災害時に避難勧告等が出された場合、該当地域の要援護者の情報を容易に抽出できる。

## 5 特記事項・ＰＲポイント

・埼玉県高齢者と地域のつながり再生事業費補助金の活用を予定している。
・地域の見守り活動や「暑さ対策グッズ」の配布と併せた単身高齢者慰問の際、訪問先マップとしても活用が期待される。

（1）県内の状況

ア 県内で初めて　イ 県内で　　番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

・埼玉県高齢者と地域のつながり再生事業費補助金の活用を予定している。

※ 資料の有無　　無

担当者

福祉 部長寿いきがい課　担当　増田和昭、松本　勉

連絡先

TEL　048-524-1111　内線　271、280

＜ 速報 ＞
平成25年度9月補正予算(案)概要
平成25年8月28日発表

# 熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

特別保育事業　（保育士等処遇改善臨時特例事業）

1 事業内容

民間保育所の保育士、栄養士、調理員等の処遇改善費用を、民間保育所２３園に交付する。
なお、補助金の平均交付額は保育所ごとの保育士等の平均勤続年数を基に1園当たり平均190万円程度を見込んでいる。

2 事業目的

民間保育所の保育士等の処遇改善を図るとともに、保育士等の安定的雇用の促進を図る。

3 経緯・経過

今年度から国では「安心こども基金」を活用し、保育士等の処遇改善を図ることとした。
これを受け、当該基金を活用した埼玉県の補助金を活用して、本市でも民間保育所の保育士等の処遇改善を図るもの。

4 影響・効果

保育士等の処遇改善や安定雇用及び離職防止等を図ることができる。

5 特記事項・ＰＲポイント

県の補助金10/10により、事業を実施する。

（1）県内の状況

ア 県内で初めて　イ 県内で　　番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無　　有　(無)

担当者

福祉 部　　保育課　担当　田沼　禎代

連絡先

TEL　048-524-1111　　内線　538

＜ 速報 ＞
平成25年度9月補正予算(案)概要
平成25年8月28日発表

# 熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

健康増進事業（自殺対策緊急強化基金を活用したゲートキーパー養成講座について）

## 1 事業内容

自殺対策緊急強化基金事業費補助金を活用して、自殺予防のゲートキーパーを養成する。
ゲートキーパー養成講座は、地域の見守り活動を行う民生委員・児童委員を対象とした養成講座を大里生涯学習センターで実施する他、庁内の関係部署の職員を対象とした実践的は講座を2回実施する予定。

## 2 事業目的

自殺予防対策の一環として、自殺の危険を示すサインに気づき、声かけや話を聴くなどの適切な対応をとり、関係機関につなぐというゲートキーパーの役割を担う人材を養成することで、自殺防止を図る。

## 3 経緯・経過

自殺対策は社会の大きな課題となっており、平成18年に自殺対策基本法が制定され、国を挙げて自殺対策が本格化している。熊谷市では、人口動態統計によると、平成23年の自殺者数は38人であった。 本市では、23年度は、基金を活用し自殺予防のリーフレットを作成して、9月の自殺予防週間にあわせ毎戸配布し、普及啓発を行った。
24年度は携帯電話やパソコンで、心のストレス状況がチエックできる「こころの体温計」というシステムを導入し、自殺予防に役立てた。さらに、25年度は、基金を活用し、ゲートキーパー養成講座を実施し、自殺予防を強力に推進していく。

## 4 影響・効果

ゲートキーパー養成講座を実施することで、自殺の危険を示すサインに気づき、声かけや話を聴くなどの対応をとりながら、適切な関係機関へつなぐことができるようにしていく。これにより、自殺を図ろうとする方の大切な命を守り、自殺者数を減らすことにつながる。

## 5 特記事項・ＰＲポイント

職員だけでなく、民生委員・児童委員を対象にした養成講座も実施する。地域に密接な方々が受講し、悩んでいる人に寄り添うことで自殺防止の効果が一層期待される。
また、これは県の補助金10／10により事業を実施する。

（1）県内の状況

ア 県内で初めて　イ 県内で　　番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無　　無

担当者

市民 部　熊谷保健センター　　担当　田中　博

連絡先

TEL　048-526-5737　　内線

＜ 速報 ＞
平成25年度9月補正予算(案)概要
平成25年8月28日発表

# 熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

ほ場整備事業

1 事業内容

熊谷中央地区については、平成25年度 区画整理工 21.6ha（全体面積77ha）、用排水路の護岸整備及び地区内道路の舗装工事等を実施。
上之東部地区については、面積約60haの現況調査等を実施。

2 事業目的

熊谷中央地区は、現在施工中のほ場整備を推進するため、県の事業費の増額に伴い補正するものである。
上之東部地区は、ほ場整備の要望により、事業化にむけた現況調査等を行う。

3 経緯・経過

熊谷中央地区は、平成22年度から施工中であり、区域内道路においては、原則として砂利道の整備としているが、かんがい期においては農耕車の通行等に支障のないよう、地元受益者負担の事業費を勘案しながら一部舗装道路の位置付けを追加設定する。
上之東部地区は、平成24年10月ほ場整備に関する要望書の提出を受け、アンケート調査をおこなったところ、ほ場整備実施の意向が多かったため、現況調査等を行うこととした。

4 影響・効果

基盤整備の実施により、農業経営の合理化、生産性の向上、担い手の育成が図られる。

5 特記事項・ＰＲポイント

基盤整備と農地の集積が図られる。

（1）県内の状況

ア 県内で初めて　イ 県内で　　番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無　　無

担当者

産業振興 部　農地整備課　担当　水野 祥夫

連絡先

TEL　048-588-1325(直通)　内線

＜ 速報 ＞
平成25年度9月補正予算(案)概要
平成25年8月28日発表

# 熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

ウーマノミクス創業支援事業

1 事業内容

ウーマノミクスによる地域活性化を目指し、妻沼地区の仲町なかよし商店会が旧佐藤整形外科医院（妻沼１４３１－２）を使って、試験的な開業が可能で、創業へのファーストステップとしていける集合店舗を運営する事業について店舗改修費を補助する。

2 事業目的

女性の起業を支援するとともに、妻沼聖天山周辺をはじめとする空き施設対策とし、将来的に門前町の回遊性の向上につなげていく。

3 経緯・経過

地元の若手商店主らの勉強会を通して計画された取組。県の女性起業家ステップアップ支援事業の採択を得ており、県からの補助金７５万円に市の補助金７５万円を上乗せして、支援していく。

4 影響・効果

この店舗を聖天山参詣後の来街者の目的地としていくだけでなく、起業を志す者が地域に溶け込みながら独立開業するための学びの場となるよう、商店会会員及び地域住民とのコミュニケーションの場としていく。

5 特記事項・ＰＲポイント

熊谷妻沼手作り市の常設版となる「女性※インキュベーションショップ」

※インキュベーションショップ：インキュベーションが卵をかえす「孵化」の意味であることから、起業を支援する試験的店舗を意味する。

（1）県内の状況

ア 県内で初めて　イ 県内で２番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

熊谷妻沼手作り市は、来場者約３万人、出店数１７０ブースに及んでいる。本事業出店者募集の際には、その人材とネットワークを活用する。

※ 資料の有無　　有・(無)

担当者

産業振興 部　　商業観光課　　担当　島村博文

連絡先

TEL　　０４８－５２４－１１１１　　内線３１２

＜ 速報 ＞
平成25年度9月補正予算(案)概要
平成25年8月28日発表

# 熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

消防活動経費(熊谷はしご２号車Ｎｏｘ・ＰＭ装置取り付け及びオーバーホール)

## 1 事業内容

中央消防署に配備しているはしご付消防自動車の「自動車Ｎｏｘ・ＰＭ法」による使用期限である平成２６年１０月以降においても、同車両を継続して使用できるよう、ディーゼルエンジンから排出されるＮｏｘ（窒素酸化物）とＰＭ（粒子状物質）を低減する装置を取り付けるもの。

併せて、経年劣化した車両機能を回復して万全な出動態勢を確保するため、オーバーホールを実施するもの。

## 2 事業目的

中高層建物火災や高所での人命救助等には、はしご付消防自動車は必要不可欠であり、「消防力の整備指針」に基づく、現行のはしご付消防自動車２台体制を維持するため、必要な事業である。

## 3 経緯・経過

平成６年１０月に導入した同車両は、「自動車Ｎｏｘ・ＰＭ法」による有効期間が来年１０月をもって満了となることから、それ以降も継続して運用するための装置取り付けである。

また、オーバーホールは、前回平成１７年の実施から８年が経過し、各部の摩耗や劣化が生じていることを踏まえての、今回が２回目の実施となる。

## 4 影響・効果

中高層建物が多数建設されている熊谷市中心市街地及び籠原地区の２地域にそれぞれ１台のはしご付消防自動車が確保できる。

また、車両を継続使用することで、更新に要する予算の節減が図れる。

## 5 特記事項・ＰＲポイント

Ｎｏｘ・ＰＭ低減装置の取り付け及びオーバーホールを行うことにより、車両更新の時期が５年間延長可能となる。

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて　イ 県内で　　番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無　　有・(無)

担当者

消防本 部　　警防課　担当　　松村　修

連絡先

TEL　048-501-0117　　内線 1242

＜ 速報 ＞
平成25年度9月補正予算(案)概要
平成25年8月28日発表

# 熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

農業集落排水維持管理経費（日向島・八幡地区農業集落排水管路補修工事）

1 事業内容

熊谷市上中条地内に埋設されている農業集落排水管路の補修を行う。
管布設工　ＶＵφ150　Ｌ＝82.3m

2 事業目的

排水機能に支障が生じている管路を補修し機能回復を図ることで、農業用用排水の水質保全・農村集落の生活環境改善という農業集落排水事業の目的を遂行する。

3 経緯・経過

排水管路及び人孔において地盤沈下が生じ、排水管の勾配が変化したため汚水が滞留し排水機能に支障をきたしていることが確認された。
対策を講じない場合に想定される、管路閉塞による汚水の溢水や管路破損等の更なる被害を防止するため補修を行う。

4 影響・効果

変化した勾配を補修により是正し、汚水がスムースに流下する状態に戻すことで排水機能の回復が図られ、接続者の排水が適切に行われ処理施設の安定稼動に繋がるとともに、管路閉塞による汚水溢水等の二次的被害が防止できる。
また、県の舗装工事に先がけて補修をすることで、全体としての工事の効率化がが図られる。

5 特記事項・ＰＲポイント

（1）県内の状況

ア 県内で初めて　イ 県内で　　番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無　　有・(無)

担当者

産業振興 部　農地整備課　担当　櫻井康司

連絡先

TEL　048-588-1321　内線（319）